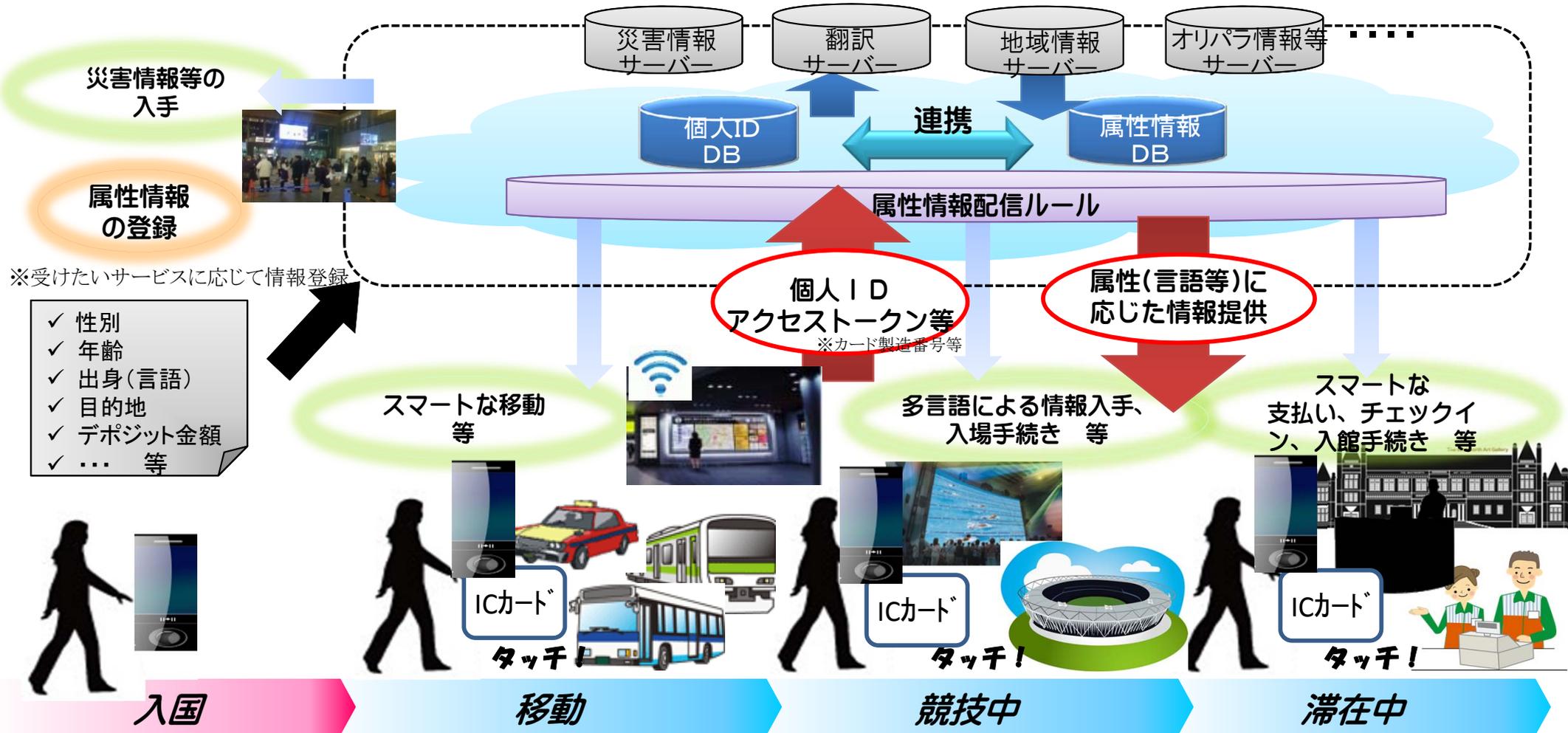


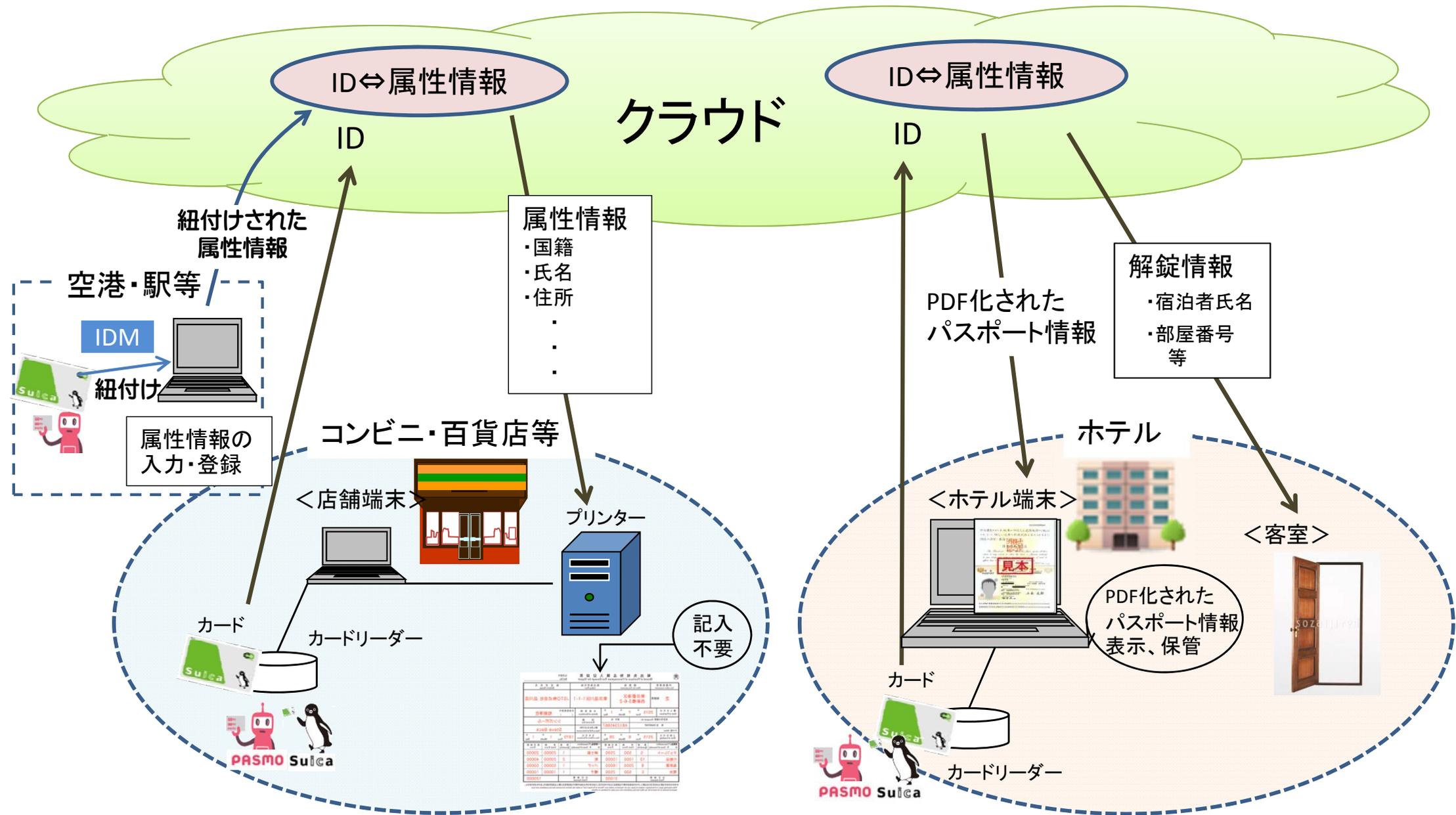
今後の検討方針について

都市サービス高度化の推進



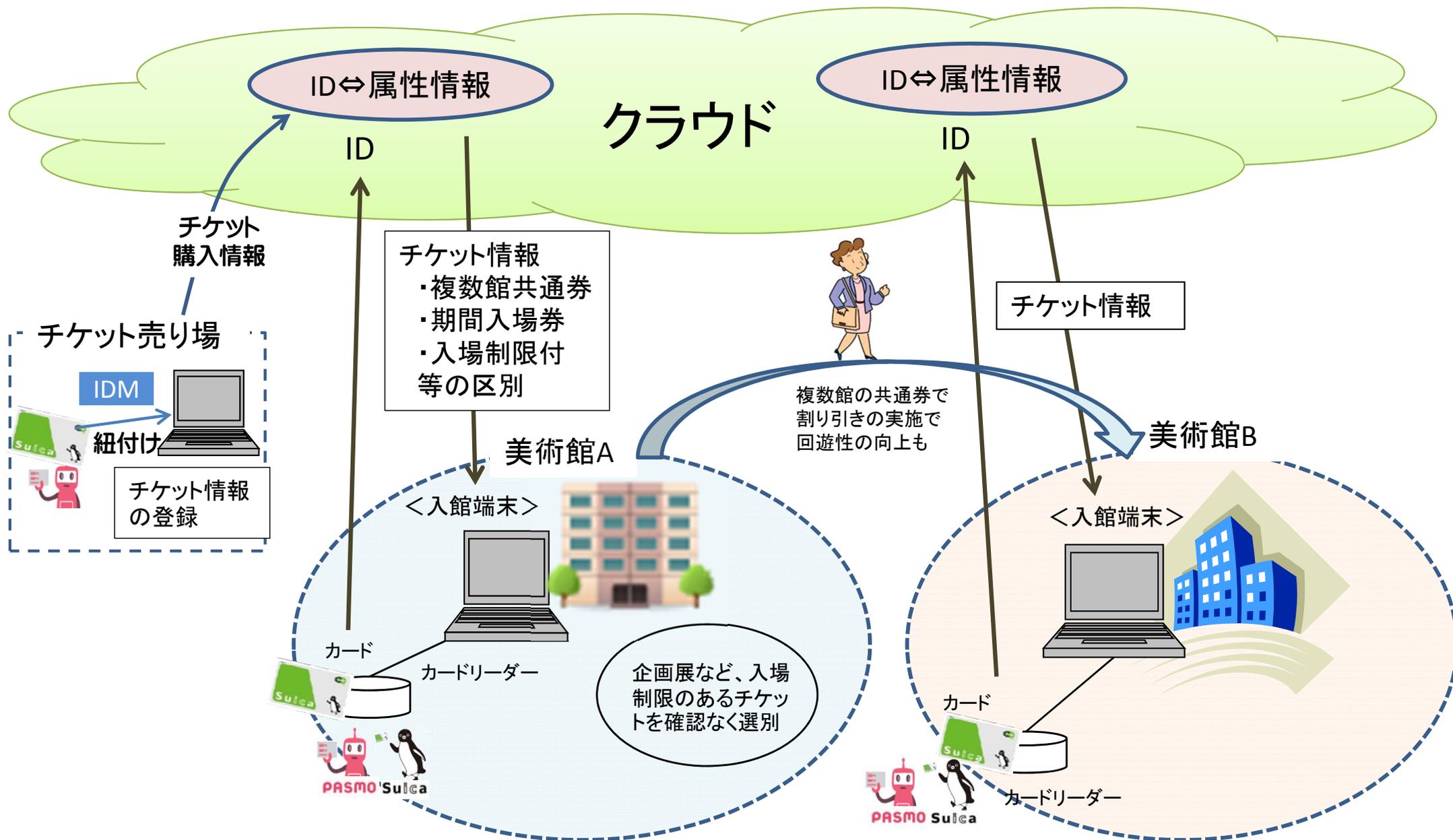
ユースケース1 (免税手続きの簡素化)

- ①事前に交通系ICカードと属性情報の紐付けを、購入時に実施(ホテルのフロント等で事後的に属性情報の追加もあり)
- ②属性情報によって、免税手続きの「記入省略」やチェックイン時の「コピー省略」等のサービスを実施



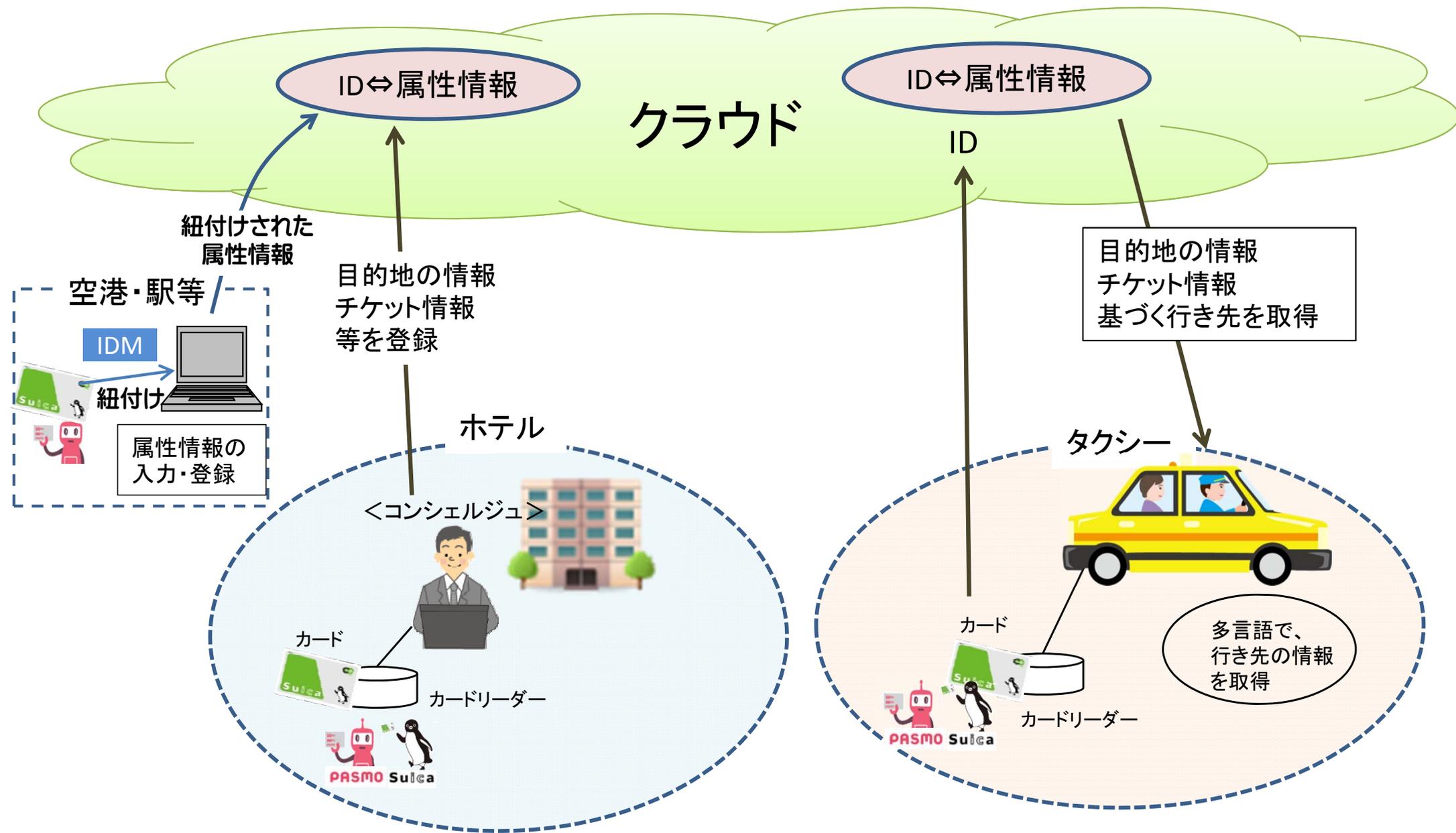
ユースケース2（美術館の入館手続き）

美術館のチケットと交通系ICカードを紐付けて、美術館への入場券として利用。
また、期間限定の企画展など入場区分がある場合にも、係員の確認の手間を省き、スムーズな入場を実現



ユースケース3 (ホテル、タクシーでの利用)

ホテルのコンシェルジュ等で行き先の情報、チケットの情報等を登録。タクシーにおいて、交通系ICカードをタッチすると、多言語で行き先が表示され、行き先の意味表示



想定される活用シーン

利用ケース	活用シーンの具体例
入国前の周知	本国にいる時点で、本サービスの周知を行い、事前の登録、交通系ICカードの購入につなげる。
飛行機内での周知	比較的時間に余裕のある飛行機での移動中において、本サービスの紹介を行い、交通系ICカードの購入、属性情報の登録を行う
<ul style="list-style-type: none"> ・空港での周知 ・空港内、空港から外への案内 	<ul style="list-style-type: none"> ・空港において、本サービスの紹介を行い、交通系ICカードの購入カードの購入と、個人属性情報の登録を行う。 ・空港設置のデジタルサイネージやアプリを利用して、空港内の施設案内、空港から都内への交通機関の紹介に利用。
<ul style="list-style-type: none"> 空港からの移動 都内での移動 	<ul style="list-style-type: none"> ・各空港から都内へ入る際や都内での移動時の移動時の支払い、行き先の案内に交通系ICカードと、事前に登録した行き先の情報を連携させて利用 ・駅構内での移動の案内
日本での滞在時 (買い物時)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で買い物をした際の免税手続きの簡素化に利用 ・デジタルサイネージと連動したクーポン、広告の提示
日本での滞在時 (美術館)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共競技場や美術館・博物館等のチケットとして活用 ・常設展示や企画展示など入場区分がある場合での入退室管理
日本での滞在時 (宿泊)	ICカードと紐づけられたパスポートのPDF情報等を活用した、ホテル等でのチェックイン手続きの簡素化
日本での滞在時 (食事)	ハラル情報等が表示され安心した食事の提供
日本での滞在時 (支払い)	買い物、交通機関利用、宿泊時等での支払いにおいて、交通系ICカードとクレジットカードを連携

今後のスケジュール(案)

